内谷市長の ゆるやかコラム

「ふれあいと交流の新たな施設」

4月は、晴れやかな天候が続いたこともあり、青空の中で、きれいに咲き誇る桜を楽しむことができました。

そのような穏やかな季節に、「タスパークホテル長井」がリノベーションオープンし、多機能型事業所「すみれ学園」の新園舎が完成しました。

タスは、長井市の産業振興、観光交流を促進し、活力を生み出す拠点施設として大変重要な施設です。今回のリノベーションに伴い、その機能を十分発揮できる快適な空間に生まれ変わりました。市でも、これまで以上にタスを活用した取り組みを行っていきたいと考えております。市民の皆様におかれましても、憩いの場や健康づくりなど様々な場面でご利用いただきたいと思います。

すみれ学園は、発達などに不安のあるお子さんを支援する施設で、清水町から旧市役所本庁舎跡地に移設整備いたしました。新しい園舎は、こどもたちの安心安全を考慮し、過ごしやすい配慮が施された明るい園舎となりました。園舎内にはテレワーク施設を併設し、保護者の就労などの場として利用できます。外に設けた多目的広場は、長井小学校児童や市民の皆様とのふれあいの場や、まちなかの交流の場など様々な用途に活用できる空間となっております。長井市が目指す「安心して自分らしく暮らせるインクルーシブなまちづくり」の象徴になる、地域に開かれた施設として運営してまいります。そして引き続き、障がいのある人もない人も、誰もが自分らしく暮らすことができるまちを目指してまいります。

さて、5月は黒獅子まつりや白つつじ祭りをはじめとしたイベントが市制70周年を記念し盛大に開催される予定です。市民の皆様も、ぜひご参加いただきお楽しみください。

▲すみれ学園及びテレワーク施設開所式

▲ふるさと長井会からいただいた桜（市役所敷地内）